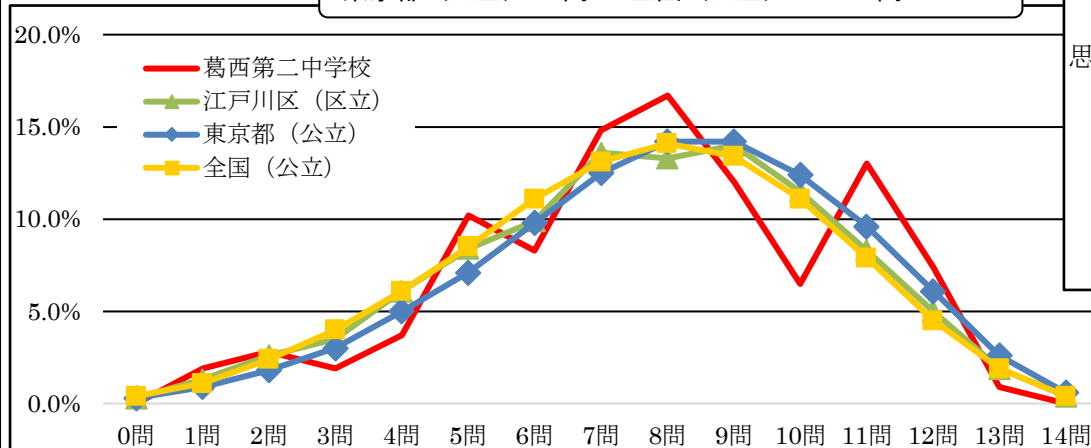


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【国語】 葛西第二中学校

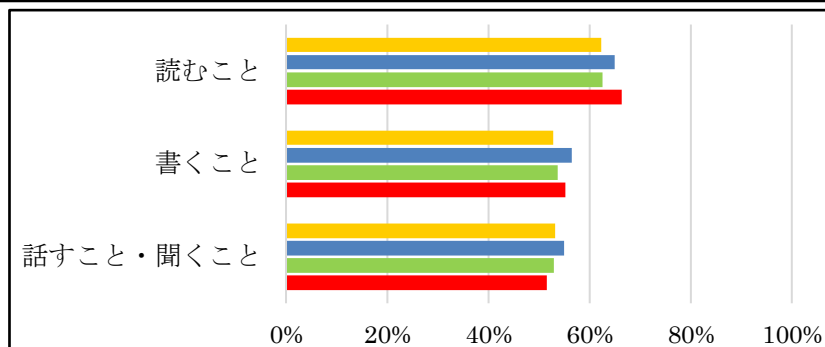
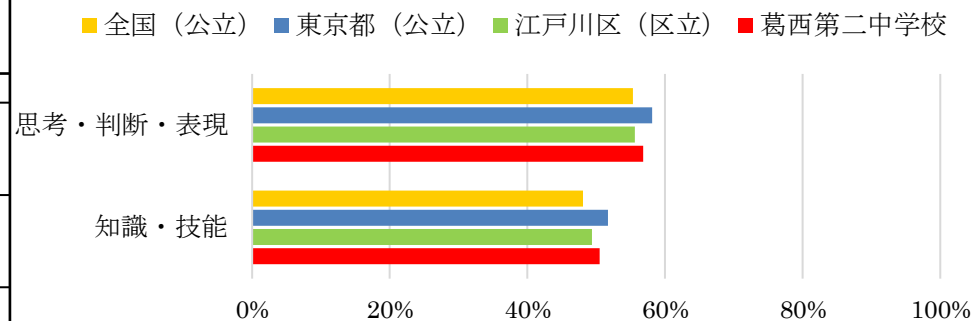
正 答 数 分 布

平均正答数

葛西第二中学校：7.8問 江戸川区（区立）：7.7問
東京都（公立）：8問 全国（公立）：7.2問



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国 語	上位 ← 下位			
	A層 10～14問	B層 8～9問	C層 6～7問	D層 0～5問
葛西第二中学校	21.3%	18.5%	31.5%	28.8%
江戸川区（区立）	27.1%	27.2%	23.5%	22.2%
東京都（公立）	31.2%	28.4%	22.3%	18.1%
全国（公立）	25.8%	27.5%	24.2%	22.5%

【平均正答率の差】

葛西第二中学校	56%
江戸川区（区立）	55%
東京都（公立）	57%
全国（公立）	54.3%
都との差	-1ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

都や全国と比べて C 層の生徒の割合が多い。また、「読むこと」が都の正答率より上回っているのに対し、「話すこと・聞くこと」正答率が都、全国低い結果である。「話すこと・聞くこと」の力を伸ばすため、伝わりやすい資料作りの授業を行い、様々な題材で発表を行う。スピーチや発表原稿作りを、「書くこと」の項目と関連させながら実施する。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒を A、B、C、D 層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。